

平成26年日本民間放送連盟賞 CM 部門 優秀賞 受賞！

公共キャンペーン・スポット 「SHARE～分かち合う～」

平成26年日本民間放送連盟賞の審査が行われ、中京テレビの出品作品
公共キャンペーン・スポット「SHARE～分かち合う～」がCM部門において
優秀賞を受賞しました。

●CM部門 優秀賞 受賞作品

□作品名 公共キャンペーン・スポット「SHARE～分かち合う～」

□制 作 中京テレビ放送

プロデューサー	深谷 浩規（中京テレビ放送）
ディレクター	笠井 知己（中京テレビ放送）
ナレーション	立木 文彦（大沢事務所）
構成作家	塩沢 航（N35）
編集	上野 譲（イマジカ）
M A	原田 圭吾（イマジカ）
音 効	岩下 康洋（サウンドエッグノッグ）

□コマーシャル展開の意図

独自の進化を遂げた固有種がのびのびと暮らす奇跡の海、インドネシア西パプア州のチェンドラワシ湾。日本のテレビカメラが入るのは、これが初めて。海上に「バガン」と呼ばれる小屋を設置し、男たちが寝起きを共にし、漁をしている。夜になると集魚灯で小魚を呼び寄せ、それを目当てに集まる中型の魚を網で捕獲。島からやってくる回収船に売っている。陸を離れ、3～4年は海上で生活を強いられる男たち。繰り返される単調な日々の中で、孤独を癒してくれる存在が、『ジンベエザメ』だ。元々小魚を食い荒らしていたジンベエザメだったが、漁で残った魚を分け与えたところ、漁の邪魔をやめ、友達のように訪ねてくるようになった。また、ジンベエザメを頂点とする海の生態系が守られ、豊かになった海が、より多くの恵みを与えてくれるようになった。独り占めは何も生み出さない。「分かち合う」ことは、一時的なマイナスは生んでも、時を経てプラスの結果をもたらす例が多い。自然の中で営まれる人間とジンベエザメの交流から、SHARE～分かち合う～ことの大切さを伝えています。